

■ ユダヤ人にとって神殿とは

ユダヤ人たちの信仰を支える、2つの柱がありました。一つは、モーセを通して、神様が与えてくださった律法です。そして、もう一つは、神殿でした。

神殿は、イスラエルの神が臨在する場所です。そして、イスラエルの民が神様に会える場所でもありました。民は、神殿で神様にいけにえを捧げました。そして、罪を犯した人が赦しを受け、汚れた人がきよめられる場所でした。また、神殿は政治的にも大事な意味のある場所でした。

最初の神殿は、ソロモン王によってエルサレムに建てられました。しかし、紀元前586年、バビロン王の侵略によって破壊されました。今日の個所の神殿は、2回目に建てられた神殿で、増築の工事が行われていました。

■ メッセージのポイント

イエス様は、神の宮（神殿）での行いを通して、ユダヤ人たちに教えています。

(1) イエス様は、ご自身に与えられたメシアとしての権威を知らせました。

(2) イエス様は、ご自身が古い神殿に代わる新しい神殿であると教えました。

(3) イエス様は、神殿の本質を回復しなくてはならないと教えました。